アビリンピック滋賀2022

製品パッキング 競技課題

かだい **1. 課題**

ままうぎ かだい かんしょうざい くみたて けっそく だば ふん 競技課題 1 緩衝材の組立・結束 【15セット(3束)/30分】

またうぎ かだい こっぱい なかはこ けいよう はこっそとはこう くみたて こんぼう こんぼう はこ かん 競技課題 2 小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包 【3梱包(3箱)/60分】

- きょうぎかだい かんしょうさい(かんせいひん) きょうぎかだい しょう ※ 競技課題1の緩衝材(完成品)は、競技課題2で使用します。
- きょうぎかだい なかはこ けしょう はこみ けしょう はこふた ふよう と さぎょう ※ 競技課題2の中箱・化粧箱身・化粧箱蓋は不要なバリやくずを取ってから作業をします。

2. 実施内容及び実施手順

- (1) 注意事項・競技の説明の後、競技を始めます。(練習はありません)
- (2) 各競技は、詳細説明図のとおりです。
- にようさいせつめいず お かた いちれい お かた てじゅん ひんしつ めくえいきょう で ほうほう ※ 詳細説明図は折り方の一例です。ほかの折り方や手順でも品質に悪影響が出る方法でなければ げんてん 審査減点対象にはなりません。

3. 注意点

- (1) 競技の際は、段ボールの端で手を切る恐れがあるため、必ず手袋を着用する事。
 - ** **手袋は各自で準備する事(両方の手を用意)**

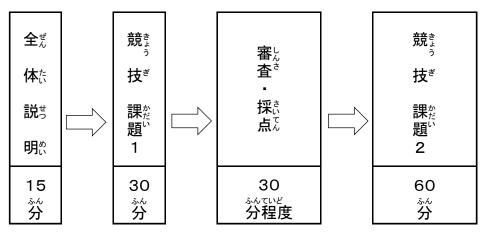
4. 実施時間

ぜんたい せつめい **全体説明**: 15分

まらぎ かだい 競技課題 1:30分 競技課題 2:60分

きょうぎ とうじっ れんしゅう ぉこな ※ 競技当日、練習は行いません。

しんさ まいてんちゅう せんしゅ かた きゅうけい ※審査・採点中は選手の方は休憩となります。



5. 競技審査のポイント

きょうぎ かだい かんしょうざい くみたて けっそく 競技課題 1 緩衝材の組立・結束

- きてい すうりょう じかん ない さくせい 規定された数量を時間内で作成できたか。
- ②製品の向きは正しいか。
 - **O·△の向きが外側になっているか
 - はし、せいひん む ※端の製品が向かいあわせになっているか
 - こ。こんにゅう とういつほうこう そろ ※○・△が5個ずつ混入せずに同一方向に揃えているか
- ③ 正しく結束されているか。

 - かんしょうざい はし いない いち けっそく ※緩衝材の端から10cm以内の位置に結束されているか
 - ※紐を持ち上げたときに、紐と製品の間隔が5cm以内か

べっし ちゅういてん せいひん む (別紙「注意点 製品の向き」も参考にしてください)

がいかん 外観にシワ・やぶれ・汚れ・凹みなどが無いか。(詳細説明図の写真参照)

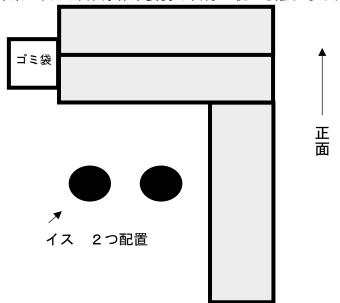
きょうぎ かだい こ はこ なかはこ けしょう はこ そとはこ くみたて こんぼう 競技課題 2 小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包

- ① 規定された数量を時間内で作成できたか。
- かんしょうざいこはこなかはこけしょうはこく い む すうりょう かだい どお ② 緩衝材・小箱・中箱・化粧箱の組み入れの向き・数量は課題通りか。

 - けしょう はこ む かんしょうざい がわ たてお かんしょうざい がわ よこお ※化粧箱の向きが緩衝材A側に縦置き、緩衝材B側に横置きされているか
 - けしょうはこ はい じょうたい なかばこ ふた うえ ※化粧箱に入っている状態で中箱の蓋が上になっているか
- ③ クラフトテープの止め方はきれいか。課題通りか。
- 4 外観にシワ・やぶれ・汚れ・凹みなどが無いか。

6. 競技レイアウト

- つくえ じ せっち きぎょう で てきぎ ぶくろ い ・机はLの字に設置する。作業で出たゴミは、適宜ゴミ袋に入れる。
- ざいりょう お いち さぎょう じゅう さぎょう しせい じぶん つくえ はな じゅう おこな・材料の置き位置と作業エリアは自由。作業姿勢は自分の机から離れなければ自由に行ってよい。



7. 会場に準備されているもの(選手1人当たりの支給材料)

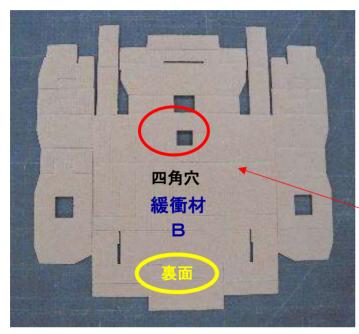
	ざいりょうめい 材料名	すうりょう 数量	たんい 単位	備考
競技用材料	そとばこ 外箱	3	_{まい} 枚	
	こばこ 小箱	12	枚	
	_{なかばこ} 中箱	12	*\ 枚	
	けしょうばこ み 化粧箱 身	12	*\ 枚	
	けしょうばこ <u>ふた</u> 化粧箱 蓋	12	*\ 枚	
	かんしょうざい えー 緩衝材A	15	*\ 枚	
	かんしょうざい びー 緩衝材B	15	枚	
資 しざい 材	troぞく ひも 結束紐	1	* 巻	
	くちばし型カッター	1	_{ほん} 本	
	クラフトテープ	1	* 巻	テープカッターつき
	はさみ	1	個	
	^{ふくろ} ゴミ袋	1	枚	さぎょう づくえ は っ じょうたい はいふ 作業机に貼り付けた状態で配布

8. 選手が持参するもの

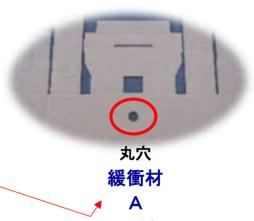
บผมเ 品名	すうりょう 数量	たんい 単位	備考
Tぶ(3 手袋	2	そう 双	** ※破れた場合を考えて、予備も持参すること。
*************************************	1	***< 着	************************************
eğsə (**) 作業靴	1	₹< 足	きょうぎ かいじょう どそく にゅうじょう ※競技会場は土足で入場できるが、 スリッパやサンダルは作業がしづらくなるため不可。

【競技課題1】 緩衝材の組立・結束

展開図



※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります



※緩衝材は2種類あります

完成 図

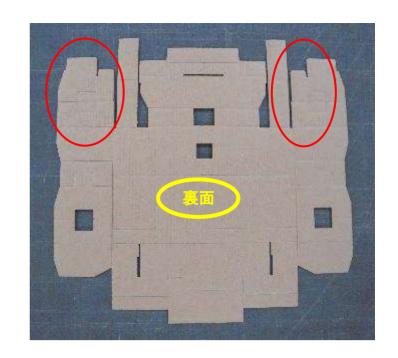


組立完成図

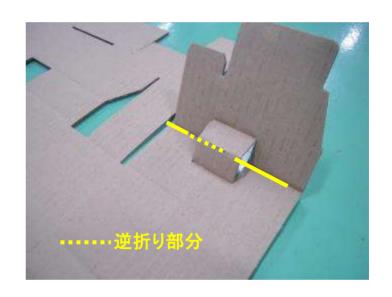


結束完成図

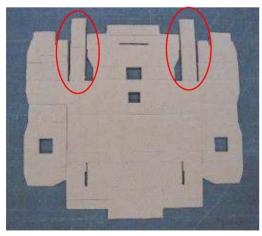
1. 緩衝材は2種類あるが、基本的な がた。 きょうつう 折り方は共通です。(写真は緩衝材B) 総衝材の裏面を上にし折ります。 最初に〇印の箇所から折ります。

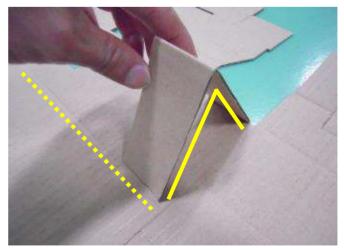


2. 本体の袖部分2か所に折り癖を付ける。



3. 〇部を点線部分の罫線に合わせ折り込み きんかく 三角をつくる。



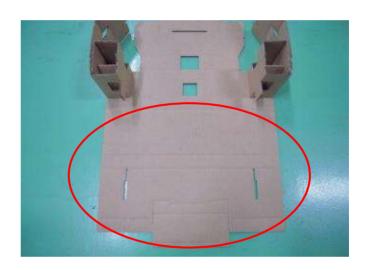


4. 袖部分を立ち上げ、3で折った三角部分に 巻き付けるように折り込む。(別紙※1)

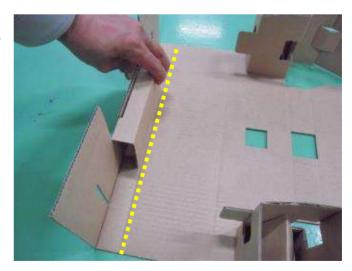




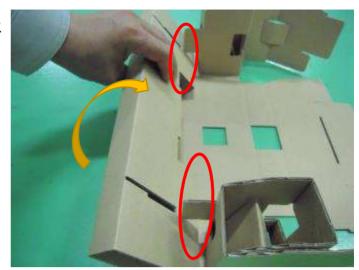
5. 〇で囲んだ部分を折ります。



5ゅうしんぶ てんせんぶ けいせん あ おります。 6. 中心部を点線部の罫線に合わせ折ります。

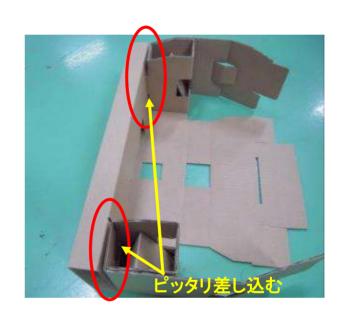


7. 両端先端部を折り込み、全体を矢印方向にたった。 立ち上げながら折り込む。

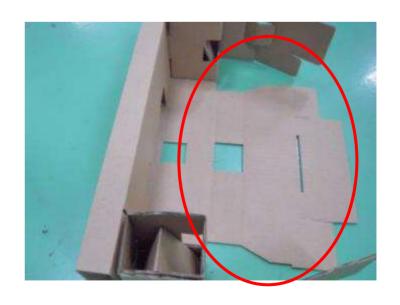


8. 穴部に袖部分の凸部分を差込ながら ***なたい 全体を立ち上げ折り込む。



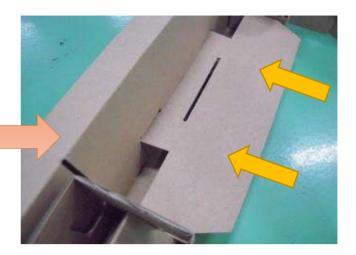


9. 〇で囲んだ部分を折ります。

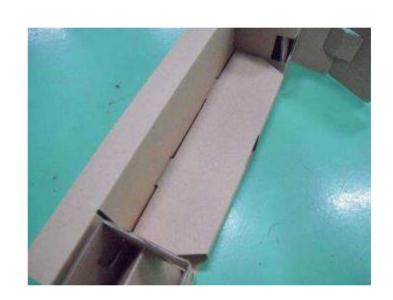


10. 先端部3か所を折りながら矢印方向に 折り込む。

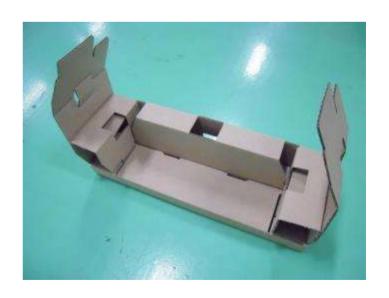




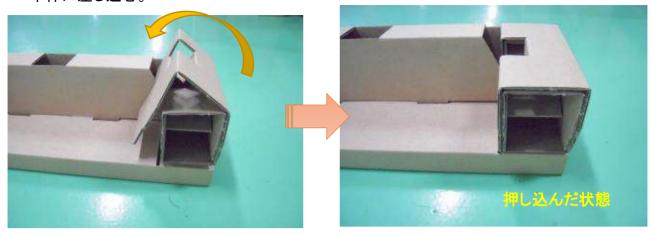
11. 全体を折り込み、本体にピッタリと 押し込む。(**別紙※2**)



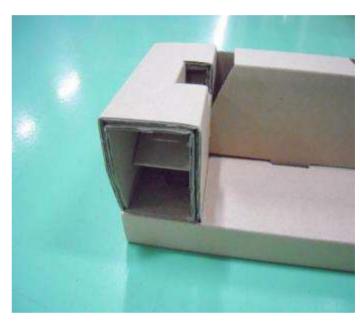
12. 袖部が上にくるように向きを変える。



13. 袖部を罫線に合わせ折り込み、先端部を本体に差し込む。



14. 反対側も同様に、本体に差し込む。



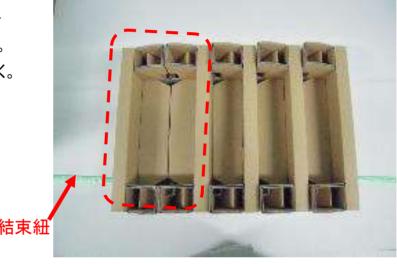
15. はじめに折った三角部分が正確に 三角になっているか確認し完成。 これを緩衝材Aと緩衝材Bそれぞれ 5値ずつ完成させる。





16. 作業台に結束紐を可能な限り直線に置く。





注) 1つだけ向きが違うので注意

18. 17で置いた緩衝材と異なる緩衝材
(〇穴であれば口穴、口穴であれば〇穴)を
5ヶ、穴が上にくるように置く。



注) 1組だけ向きが違うので注意

19. 緩衝材の端から10cm以内の角で 結束する。結び方は自由。 ただし、8cm以内の結び目で容易に 解く事が可能な結び方にする。 また、紐を持ち上げたとき、製品と紐の 間隔が5cm以内になるようにする。



20. 反対側も同様に、結束紐を緩衝材の端にくるように設置する。



 21. 緩衝材の角で結束し完成。

緩衝材の結束方法については、 別紙「注意点 製品の向き」も 確認すること。



※ 緩 衝 材 作 成 の 注 意 点

ぜんたい ちゅうい な め か 全体の注意として、折り目をよくつけてから折りたたむようにする。

(※1)巻き込む際に折り方が定りないと 若の写真のように歪んでしまうので よく折り首を付けてから巻き込む。



(**※2**)しっかり奥まで差し込めていないと 世来上がりが曲がってしまう、差し込んだところが 破れてしまうので注意する。



(**※3**)うまく折れていないと、端が破れてしまう ので注意する。



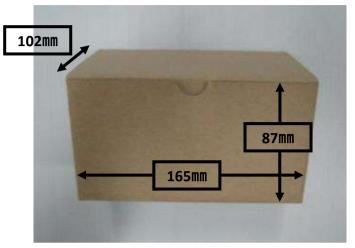


小箱展開図

小箱完成或

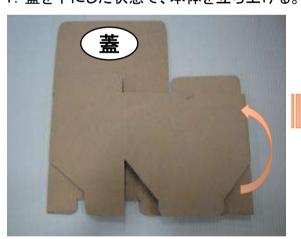


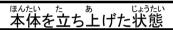
※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります

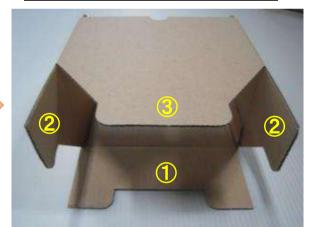


※数値は内寸を表します

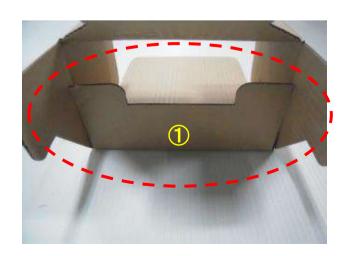
3た した じょうたい ほんたい た あ 1. 蓋を下にした状態で、本体を立ち上げる。



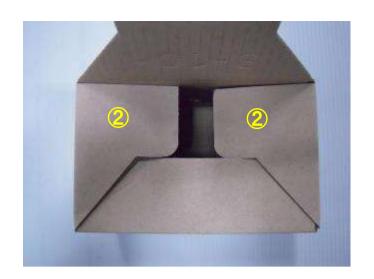




2. ①の蓋側底フラップを内側に折る。



3. ②のフラップ2か所を内側に折る。



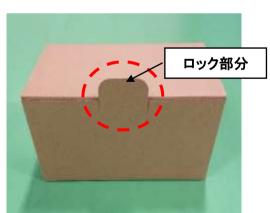
4. ③のフラップを内側に押し込み、底部が完成。

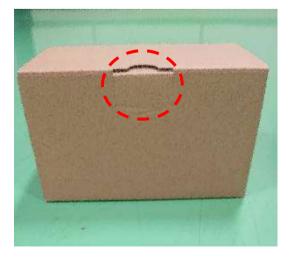


5. 底部を下にし、内フラップ2か所を内側に折り **** 蓋をする。



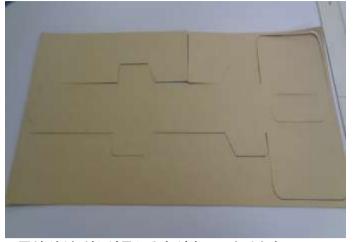
6. 最後にロック部分を蓋の中に入れて完成。





中箱作業開始時点

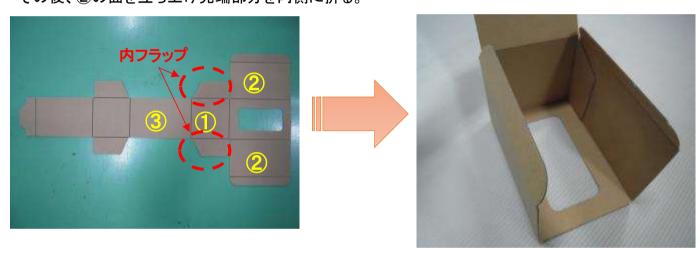
中箱完成図



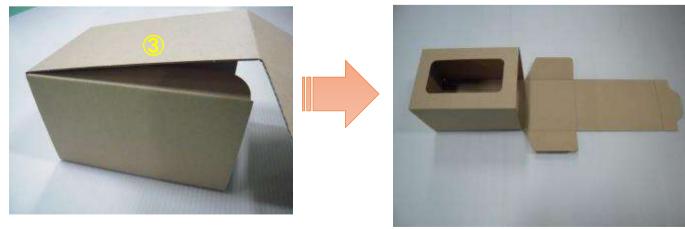
※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります ※競技材料は最初にくず取り作業が必要です。



6. ①の面を立ち上げ、内フラップ部分を内側に折り その後、②の面を立ち上げ、ちゅっぱいかん。 はんたんぶぶん。 うちがわった をの後、②の面を立ち上げ先端部分を内側に折る。



7. ③の部分を罫線(折れ線)に沿って折り、 ③の部分を下に向きを変える。



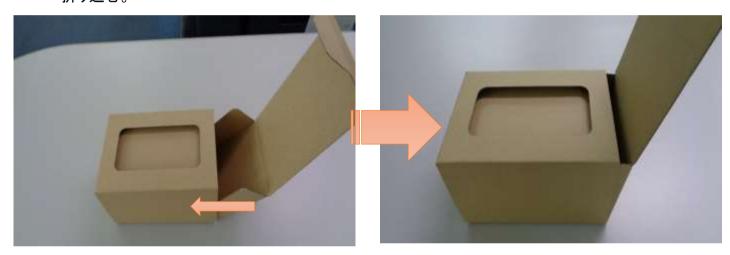
8. 中箱の中に小箱を写真のように入れる。 その際、中箱の穴から小箱の底が見えないように 小箱の向きに注意する。



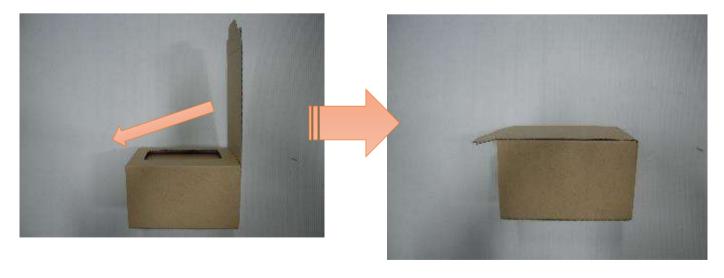




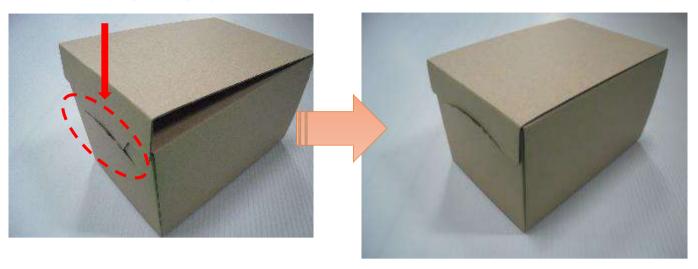
9. フラップ部分2か所を内側に折り、本体の中に折り込む。



10. 中箱の天面を本体に向かって折る。



11. 最後に天面先端の差込部を本体の 切れ込み部に挿入し完成。

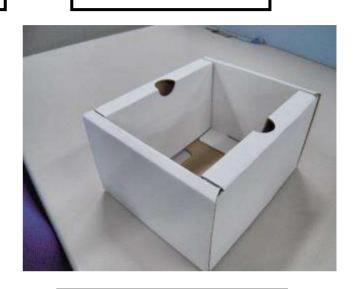


化粧箱身作業開始時点



※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります ※競技材料はくず取り作業が必要です。

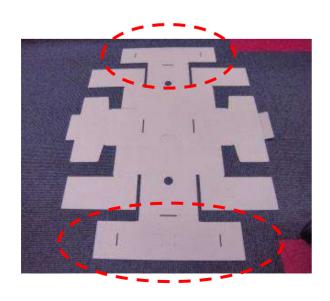
化粧箱身完成図

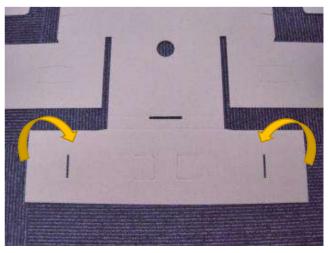


※ くず 取 り 完 了 図

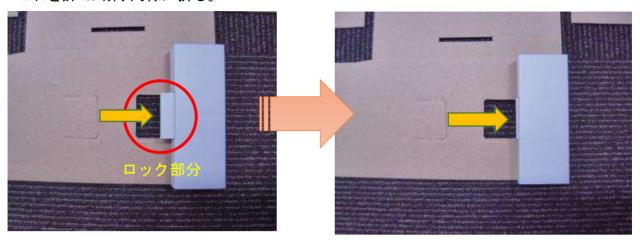


1. はじめに丸印の部分から折ります。 端の部分を内側に巻くように罫線に合わせ 折る。

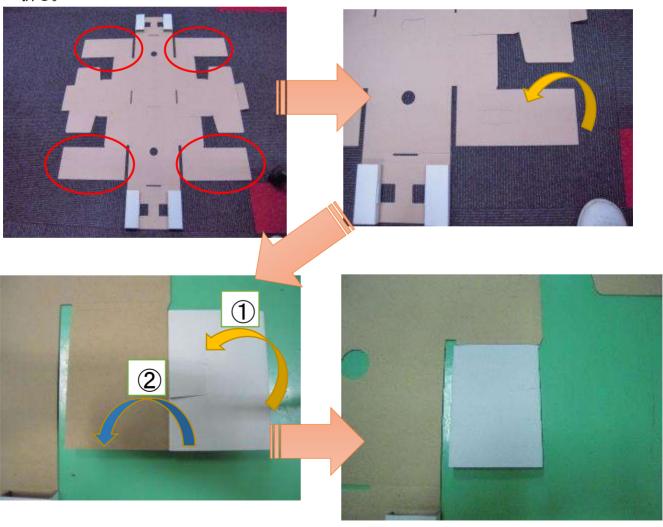




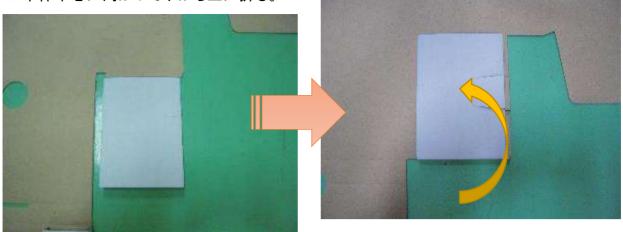
2. 折った部分の穴に、ロック部を下から立ち上げ差し込む。これを計4か前、同様に折る。



3. <mark>○印</mark>の部分を端から罫線に合わせ内側に 折る。



4. 本体中心に向かって下から上に折る。



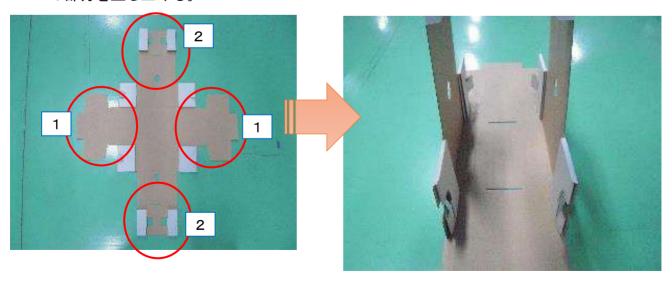
5. ロック部分を下から押し上げロックする。 これを各部、計4か所同様に折る。



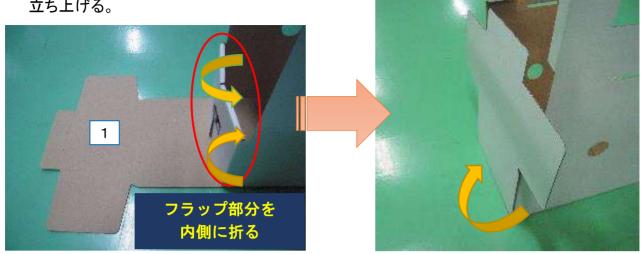


4か所全で折った状態

6. 2の部分を立ち上げる。

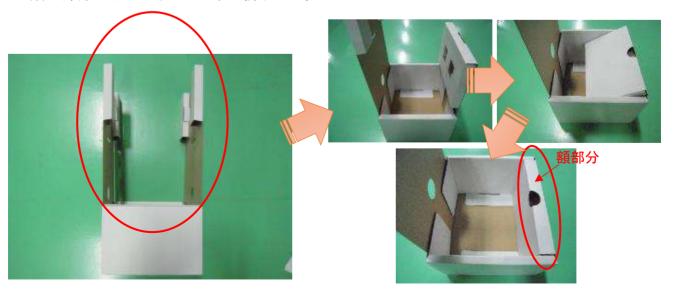


7. フラップ部分を内側に折り、1の部分を 立ち上げる。

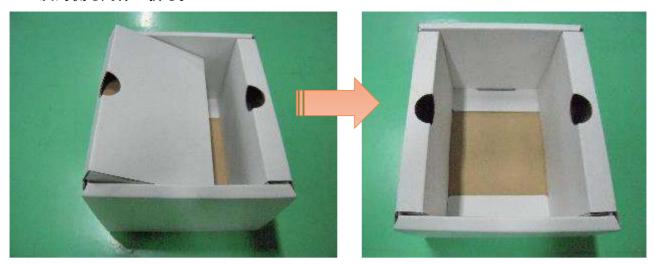




9. 2の端の部分から罫線に合わせ折り、 額の部分が平らになるまで中に折り込む。

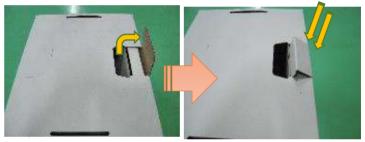


10. 反対側も同様に折る。

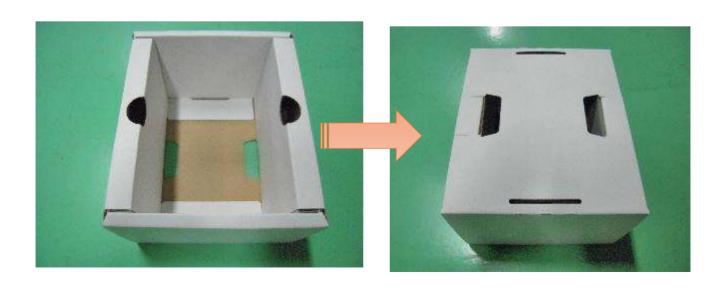


11. 裏(下)側を上にし、ロック部分を裏側から が だけし、2の穴に挿入する。 はんたいがわ どうよう たな そうにゅう 反対側も同様に穴に挿入する。





12. 2か所のロックが出来たら、底部を下に った。 った変え完成。



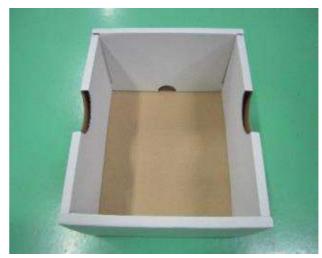
【競技課題2】 小箱・中箱・化粧箱・ 外箱の組立・セットアップ梱包(3)

化粧箱蓋作業開始時点

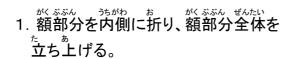


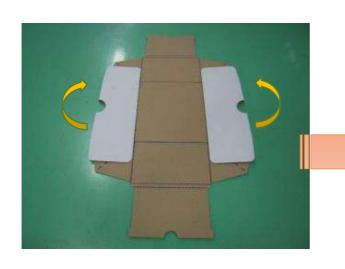
※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります ※競技材料はくず取り作業が必要です。

化粧箱蓋完成図

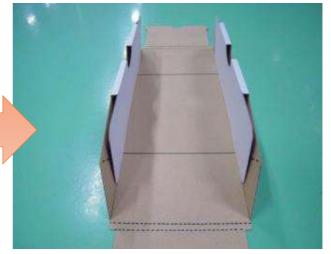


※ くず 取 り 完 了 図



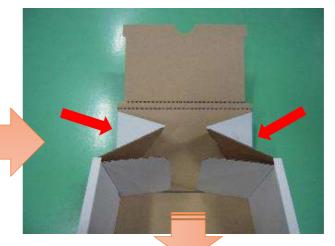






2. 内フラップを内側に折る。 その後に、外側フラップのミシン目を 内側に折りながら、側面を立ち上げる。







3. 側面を内側に折り込み、ロック部分を 中に押し込む。





※ロック部分が中に入りきらず ゆがんでしまっているものは が流点となるので注意して押し込む。



4. 反対側も同様に折り完成。

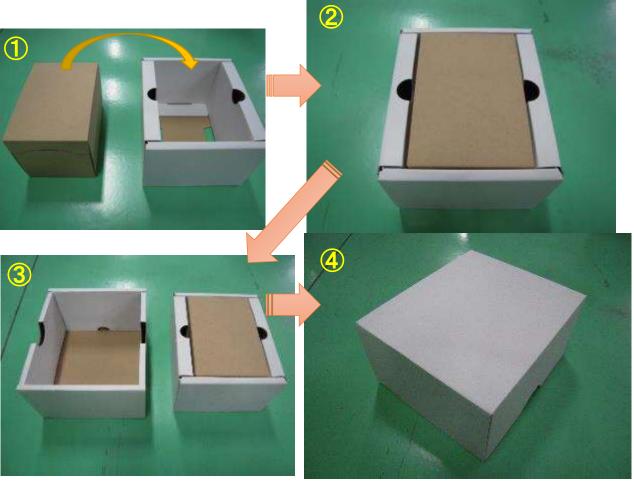


【競技課題2】 小箱・中箱・化粧箱・ *とはこ へかたて ケットアップ梱包 (4)

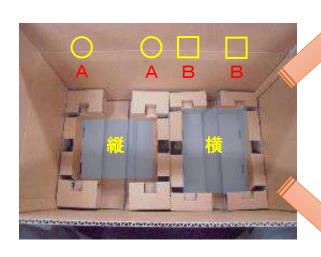
极 包 部 品 一 覧



1. 「化粧箱 身」に小箱が入った中箱を ハれ、蓋をする。これを4ケース作成する。 ※中箱の蓋が上にくるように「化粧箱身」に入れる



2. 外箱を作成し、その中に緩衝材をOまたは口が外側になるように各2ヶずつ設置し、化粧箱を入れる。





※緩衝材A側(●)には化粧箱を縦に設置する



※緩衝材B側(■)には化粧箱を横に設置する

3. 底部緩衝材と同じ緩衝材を向き合うように それぞれ設置して完成。



※ セットアップの注意点

※クラフトテープは手でちぎると 覚覚えが悪くなり、減点対象となるため テープカッターなどでまっすぐに切る。

